

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	高橋 陽子
授業の概要				
<p>感染症学Ⅰでは主に寄生虫感染症を、感染症学Ⅱでは感染のメカニズムや感染症に関わる法律、さらに免疫学の理解からワクチンや狂犬病の理解を深めた。感染症学Ⅲでは、感染症学Ⅱで履修した病原性微生物の概要から、各病原体(細菌、真菌、ウイルス、プリオン)の構造や病原性から理解を深め、それらが引き起こす感染症について、臨床で見られるものを中心に展開していく。さらに感染症を予防するための滅菌法や消毒法をそれぞれの特徴とともに覚え、予防技術をつけるものとする。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・細菌、真菌、ウイルス、プリオンの形態や特徴を理解し、それらが原因となる疾患はどのようなものがあるのかを覚える。 ・ワクチンで予防できる犬猫のウイルス疾患について詳しく理解する。 ・感染症予防として、滅菌・消毒の概念を理解し、各消毒液や滅菌法の特徴を覚える。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院での動物看護業務(6年) 専門学校講師(18年) 猫カフェの開業・経営(動物展示及び飲食店業務)(3年)		
時間外に必要な学修				
普段使用している消毒液はどのような薬名でどの微生物に効果があるのかを意識する。				
回	テーマ	内容		
1	微生物学の歴史、プリオン	微生物の誕生とそれらに関わる人物、微生物検査 プリオンの特徴とプリオン症		
2	細菌学① 細菌の構造	細菌の分類と構造(グラム陰性菌と陽性菌) 細菌性疾患		
3	細菌学② 細菌の特徴	芽胞菌と細菌の増殖 細菌培養と薬物感受性試験、治療薬(抗生剤)		
4	細菌学③ 特殊な細菌 真菌の構造	マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア 真菌の構造		
5	真菌性疾患	表在性(マラセチア/皮膚糸状菌症)、深部皮膚性、深在性真菌 疾患と真菌中毒		
6	ウイルスの特徴	ウイルスの構造と特徴		
7	ウイルスと細胞変性効果 犬のウイルス性感染症①	ウイルス疾患による封入体形成(細胞質内か核内か) ケンネルコフとジステンパー		
8	犬のウイルス性感染症②	パルボ/伝染性肝炎/レプトスピラ症/コロナウイルス		
9	猫のウイルス性感染症①	猫伝染性鼻気管炎、猫カリシウイルス、猫パルボ		
10	猫のウイルス性感染症②	猫白血病、猫エイズ		
11	猫のウイルス性感染症③ まとめ	猫伝染性腹膜炎、猫クラミジア		
12	微生物検査/バイオセーフティ管理	ウイルス診断の種類とバイオセーフティ管理		
13	滅菌と消毒	滅菌法と消毒法		
14	消毒液の特徴	それぞれの消毒液の特徴について		
15	消毒液の特徴	有効な消毒液の使い方/各水準別特徴		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント 基礎動物看護学3 動物感染症学		確認テスト 確認テスト 期末試験	20.0% 40.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学 I		動物看護総合学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
外科手術に関することを学ぶ 手術の準備から片づけなど、手術に関することを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
外科手術の流れがわかる 滅菌の意識が身につく 手術の準備ができるようになる 手術の助手に入る準備ができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
修得した内容の復習と繰り返しの練習				
回	テーマ	内容		
1	外科動物看護学とは	科目の目的 術前検査、手術準備、手術中・後の管理、手術助手の役割		
2	道具の滅菌と取り扱い	手術時の滅菌と消毒 道具の滅菌方法 オートクレーブ・EOG 道具の取り出し方 台の消毒		
3	手術で使用する道具1	手術器具(メス・鋏・針・持針器・鉗子)		
4	手術で使用する道具2	手術に使用する糸と縫合方法		
5	麻酔・鎮静1	麻酔の仕組、種類、作用と代謝・排泄、麻酔の流れ		
6	外科実習実技試験1	手洗い・ガウン・手袋 実技試験		
7	麻酔・鎮静2	実際の麻酔法と周術期疼痛管理		
8	モニタリング1	モニタリングに関する知識・使い方・判断方法1		
9	外科実習実技試験2	針に糸を付ける・縫合の助手 避妊手術の器具準備 実技試験		
10	モニタリング2	モニタリングに関する知識・使い方・判断方法2		
11	小テスト 術後の片付けと記録	小テスト 手術後の片付け・オペレコ・カルテの記載		
12	救命救急1	生命兆候のアセスメント、呼吸・循環管理、保温、止血		
13	救命救急2	気管挿管、心肺蘇生、その他救命処置		
14	外科実習実技試験3	毛刈り・消毒 台への固定 気管挿管とモニターの付け方実技試験		
15	期末試験	プリント・ノート・メモ 持ち込み可		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書 動物外科看護学 動物看護学テキスト		期末試験 確認テスト 出席率	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論 I		動物看護総合学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。				
授業終了時の到達目標				
動物の主な疾患の看護について実践でき、また、飼主に疾病の予防を説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
学んだ内容の復習と、予習として学ぶ内容の形態機能学の復習をしておく				
回	テーマ	内容		
1	臨床動物看護学各論とは	学ぶ目的 授業の進め方 基本最初に確認テストを実施 症状と徴候と病気との関係 GW		
2	代表的な徴候 1	代表的な全身徴候とその原因 GW		
3	代表的な徴候 2	特異的徴候とその原因 GW 動物病院来院数の多い疾患：皮膚病、外耳炎、胃腸炎 皮膚病の徴候の名前		
4	皮膚の病気 1 皮膚病の原因と感染性の皮膚病 1	皮膚病の原因による分類 寄生虫(疥癬・アカラス)		
5	皮膚の病気 2 感染性の皮膚病 2	真菌(皮膚糸状菌・脂漏症)		
6	皮膚の病気 2 感染性の皮膚病 3	細菌(膿皮症) 感染性の皮膚病復習テスト		
7	皮膚の病気 3 非感染性の皮膚病 1	アレルギーによる皮膚病 特徴と治療方針 アレルギーによる皮膚病(食餌性アレルギー)		
8	皮膚の病気 4 非感染性の皮膚病 2	アレルギーによる皮膚病(アトピー・接触性・ノミ)		
9	皮膚の病気 5 非感染性の皮膚病 3	内分泌疾患による皮膚病 1		
10	皮膚の病気 6 非感染性の皮膚病 4	内分泌疾患による皮膚病 2		
11	皮膚の病気 7 非感染性の皮膚病 5	皮膚腫瘍・自己免疫性疾患		
12	皮膚の病気 8 外耳の疾患	耳の構造 外耳炎・耳ヒゼンダニ		
13	消化器の病気 1	消化器の構造と機能(復習) 嘔吐と吐出について		
14	消化器の病気 2	下痢の種類と対処方法		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジュアルで学ぶ動物看護学 動物看護の教科書		期末試験 確認テスト 出席率	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学 I		動物看護総合学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	西村 美笛
授業の概要				
さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。				
授業終了時の到達目標				
臨床検査についての基本技術を修得し、特に使用頻度の高い検査について正しい検査方法で行うことができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院にて、2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
動物臨床検査学実習 I と連動した授業のため、学習した内容を動物検査実習 I で実践し、理解する必要がある				
回	テーマ	内容		
1	導入、感度特異度、BT実習練習	導入、感度特異度座学 BT実習練習(採血犬: ルイ・ルナ・こんぶ)		
2	春の健康診断① フィラリア検査	採血実習、生化学検査、ソロステップ、投薬 など (全スタッフ準スタッフ犬猫の春の健康診断実施) ※28日: 対象動物はF薬投与!		
3	春の健康診断② フィラリア検査	採血実習、生化学検査、ソロステップ、投薬 など (全スタッフ準スタッフ犬猫の春の健康診断実施) ※28日: 対象動物はF薬投与!		
4	生化学検査	血液検査(生化学検査)について		
5	顕微鏡(復習) 血球カウント	顕微鏡(復習)・血球カウント(血球について座学)		
6	皮膚、耳検査	皮膚、耳検査座学、実習		
7	尿検査座学、実習	尿検査座学、採尿実習、尿検査実習		
8	糞便検査座学、実習	糞便検査座学、採便実習、便検査実習		
9	眼科検査	シルマー試験、眼圧測定、フルオレセイン染色 等		
10	神経学的検査	神経学的検査		
11	培地作成	培地作成		
12	培地観察、血球カウント	培地観察、スケッチ、血球カウント練習		
13	心電図、血圧	心電図座学、血圧		
14	総復習	各種検査の準備作業内容の確認		
15	期末試験	筆記試験実施(持ち込み可)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・臨床動物看護学② ・動物看護学テキスト		期末試験 期末試験 出席率 授業態度	30.0% 30.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学実習Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	林 勇樹
授業の概要				
犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
授業終了時の到達目標				
1) 動物の基本的な取り扱いができ、一般身体検査全般ができる 2) 診察準備や衛生管理、保定、その他診療補助ができる 3) 輸液や薬剤投与など内科診療技術を修得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内の動物病院にて動物看護師として2年間の実務経験あり		
時間外に必要な学修				
繰返し練習することで身に付ける				
回	テーマ	内容		
1~2	導入	導入(診療におけるVTの役割 など)		
3~4	実技試験について	実技試験についての説明、練習(保定、ワクチン準備)		
5~6	全身検査、フィラリア予防	全身検査復習、実習、フィラリア薬投与		
7~8	スタッフ犬RV接種	スタッフ犬の狂犬病予防注射接種		
9~10	準スタッフ犬混合vac接種	準スタッフ犬の混合ワクチン接種		
11~12	医療的健康管理	耳処置、爪切り、肛門囊の医療的処置、日常のケア 等		
13~14	口腔管理	口腔について、歯磨き、スケーリング 等		
15~16	各種カテーテル処置	尿カテーテル、鼻カテーテル、食道カテーテル		
17~18	点滴	点滴準備、皮下点滴手技、輸液ポンプ、針のケージ・種類復習		
19~20	留置	留置準備、留置手技、輸液・輸血中の動物の管理方法		
21~22	薬について①	処方箋、調剤用語、薬剤について、処方について		
23~24	薬について②、ノミダニ予防	薬量計算、ノミダニ予防		
25~26	穿刺・吸引、酸素吸入	穿刺・吸引について、酸素吸入について		
27~28	実技試験	保定、混合ワクチン準備		
29~30	期末試験	筆記試験実施(持ち込み可)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・動物看護学テキスト		期末試験 期末試験 出席率 授業態度	30.0% 30.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学実習 I		動物看護総合学科/2年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	西村 美笛
授業の概要				
さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。				
授業終了時の到達目標				
臨床検査についての基本技術を修得し、特に使用頻度の高い検査について正しい検査方法で行うことができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院にて、2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
動物臨床検査学実習 I と連動した授業のため、学習した内容を動物検査実習 I で実践し、理解する必要がある				
回	テーマ	内容		
1	導入、感度特異度、BT実習練習	導入、感度特異度座学 BT実習練習(採血犬: ルイ・ルナ・こんぶ)		
2	春の健康診断① フィラリア検査	採血実習、生化学検査、ソロステップ、投薬 など (全スタッフ準スタッフ犬猫の春の健康診断実施) ※28日: 対象動物はF薬投与!		
3	春の健康診断② フィラリア検査	採血実習、生化学検査、ソロステップ、投薬 など (全スタッフ準スタッフ犬猫の春の健康診断実施) ※28日: 対象動物はF薬投与!		
4	生化学検査	血液検査(生化学検査)について		
5	顕微鏡(復習) 血球カウント	顕微鏡(復習)・血球カウント(血球について座学)		
6	皮膚、耳検査	皮膚、耳検査座学、実習		
7	尿検査座学、実習	尿検査座学、採尿実習、尿検査実習		
8	糞便検査座学、実習	糞便検査座学、採便実習、便検査実習		
9	眼科検査	シルマー試験、眼圧測定、フルオレセイン染色 等		
10	神経学的検査	神経学的検査		
11	培地作成	培地作成		
12	培地観察、血球カウント	培地観察、スケッチ、血球カウント練習		
13	心電図、血圧	心電図座学、血圧		
14	総復習	各種検査の準備作業内容の確認		
15	期末試験	筆記試験実施(持ち込み可)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・臨床動物看護学② ・動物看護学テキスト		期末試験 期末試験 出席率 授業態度	30.0% 30.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学実習 I		動物看護総合学科/2年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
外科手術に関することを学ぶ 手術の準備から片づけなど、手術に関することを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
外科手術の流れがわかる 滅菌の意識が身につく 手術の準備ができるようになる 手術の助手に入る準備ができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
修得した内容の復習と繰り返しの練習				
回	テーマ	内容		
1	外科動物看護学とは	科目の目的 手術での看護師の役割・必要な知識とは		
2	術者・助手の準備 1	手洗い 手拭きタオルのたたみ方と滅菌		
3	術者・助手の準備 2	ガウン・手袋の付け方とたたみ方		
4	術者・助手の準備 3	手洗い・ガウン・手袋 練習		
5	術者・助手の準備 4	手洗い・ガウン・手袋 練習		
6	外科実習実技試験 1	手洗い・ガウン・手袋 実技試験		
7	手術器具 1	縫合の助手について 手術器具(避妊手術の器具準備)の確認		
8	手術器具 2	縫合練習と手術器具(避妊手術の器具準備)		
9	外科実習実技試験 2	針に糸を付ける・縫合の助手 避妊手術の器具準備 実技試験		
10	動物の準備 1	毛刈り・消毒 台への固定		
11	動物の準備 2	気管挿管とモニターの付け方		
12	動物の準備 3	毛刈り・消毒 台への固定 気管挿管とモニターの付け方練習		
13	動物の準備 4	毛刈り・消毒 台への固定 気管挿管とモニターの付け方練習		
14	外科実習実技試験 3	毛刈り・消毒 台への固定 気管挿管とモニターの付け方実技試験		
15	期末試験	プリント・ノート・メモ 持ち込み可		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書 動物外科看護学 動物看護学テキスト		期末試験 確認テスト 出席率	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
「働くこと」を自分のことのように捉え、自分らしい「キャリアの在り方」についての洞察を深め、将来社会に出て実践できるように、社会人として求められる姿勢や資質・能力を身につける。				
授業終了時の到達目標				
①自己のキャリアを考える上での基礎的理解ができ、仕事選択のやり方を習得できる。 ②「自分らしさ」についての理解を深め、それを表現し、言語化・文章化できる。 ③仕事で求められる心構え・姿勢や能力が理解でき、それを学習活動につなげられる。 ④仕事選択を身近に考えるようになり、キャリア・プランを具体的に立てられる。 ⑤校外研修に向けた履歴書を作成できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
動物看護師としての自分の姿を想像し、現場で必要な知識や技術が何かを追求する。				
回	テーマ	内容		
1	導入	今後のインターンシップ実習の予定確認		
2	企業研究	研修先動物病院を調べる		
3	企業研究②	研修先動物病院を調べる		
4	企業研究③	研修先動物病院を調べる		
5	履歴書作成①	履歴書を作成する		
6	履歴書作成②	履歴書を作成する		
7	履歴書作成③	履歴書を作成する		
8	履歴書作成④	履歴書を作成する		
9	研修先選定①	研修先の選定を行う		
10	研修先選定②	研修先の選定を行う		
11	研修先選定③	研修先の選定を行う		
12	研修日程決定	研修先と連絡を取り、日程を確定させる		
13	研修の心構え	研修中にすべきこと。日誌の書き方等		
14	研修終了後の対応	お礼状の書き方等		
15	最終研修準備	研修準備の最終確認を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
森ゼミ就活ゼミ		課題・レポート 出席率	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼育実習		動物看護総合学科/2年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
学校スタッフ犬猫の飼育、管理を通して、実践的な飼育技術を身につける。				
授業終了時の到達目標				
学校スタッフ犬猫の飼育及び管理を通して、飼育技術を身につけるとともに、小さな変化にも気付き適切な対応ができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
常に動物の健康状態を観察すること				
回	テーマ	内容		
1	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
2	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
3	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
4	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
5	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
6	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
7	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
8	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
9	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
10	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
11	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
12	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
13	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
14	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
15	飼育実習	スタッフ犬猫の飼育及び管理、看護実習室の管理		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護学テキスト		出席率 授業態度 課題・レポート	30.0% 40.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2022/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	佐藤 ゆかり
授業の概要				
道具と犬体の扱い方、グルーミング作業の指導 ボディクリッピングと部分カットを行う 授業開始前に前回の授業の反省点や良い点などを周知。 一日の目標と反省を記入するノートを作成させ復習を習慣づける				
授業終了時の到達目標				
実習準備ができるようになる。各作業の流れを理解できるようになる。 各道具の使い方が理解できるようになる。 ボディクリッピングと部分カットができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		広島市内のトリマー専門学校講師として4年実務経験、動物看護師として3年		
時間外に必要な学修				
普段からペットカットに興味を持って、形を意識して動物を見るようにする				
回	テーマ	内容		
1~7	モデル犬のグルーミングを行う。各自作業を自主的に行えるようになる。シザー練習を行い、シザーが持てるようになる。	各種道具の扱い方。犬体の保定。グルーミングに必要な各作業を実習。3~4名で1匹のグルーミング。シザーテストを実施。		
8~30	モデル犬のグルーミングを行う。各自作業を自主的に行えるようになる。シザーで部分カットが行えるようになる。	各種道具の扱い方。犬体の保定。グルーミングに必要な各作業を実習。3~4名で1匹のグルーミング。シザーテストで合格した者は部分カットを行う。		
31~60	モデル犬のグルーミングを行う。各自作業を自主的に行えるようになる。シザーで部分カット。ボディークリッピングを行えるようになる。	各種道具の扱い方。犬体の保定。グルーミングに必要な各作業を実習。3~4名で1匹のグルーミング。シザーテストで合格した者は部分カットを行う。ボディークリッピングを行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
グルーミングマニュアル		出席率 授業態度 確認テスト	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物病理学		動物看護総合学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
動物の疾病の成り立ちに関することを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
発病のメカニズムについて理解し、動物病院での病理検査の意義について理解する。				
実務経験の有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
毎回確認テストを行う。学んだ内容を復習し身に付け、次回以降に活かす。				
回	テーマ	内容		
1	病理学とは?	病理学を学ぶ目的・評価方法など 病理標本の作り方		
2	組織について	細胞の構造(組織学)		
3	組織について	細胞の遺伝と増殖・遺伝性疾患		
4	発病のメカニズム	なぜ発病がおこるのか? アポトーシス・壊死		
5	細胞の変化	変性・化生・萎縮 肥大と過形成		
6	再生の仕組み	再生と創傷治癒		
7	循環障害1	血液の循環障害で起こること		
8	循環障害2	血液凝固系と血栓、組織液の循環障害		
9	循環障害3	ショックと炎症		
10	免疫異常1	自然免疫と獲得免疫		
11	免疫異常2	アレルギーと自己免疫性疾患		
12	腫瘍1	腫瘍の種類とその特徴 担がん動物の特徴と診断		
13	腫瘍2	腫瘍の治療と食事療法		
14	腫瘍3	飼い主ケアと担がん動物の看護		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準		評価率
動物看護の教科書 第2巻・第3巻		期末試験	60.0%	その他
		確認テスト	20.0%	
		出席率	20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療関連法規		動物看護総合学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	松岡 樹
授業の概要				
動物や獣医療に関連するさまざまな法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。特に愛玩動物看護師法など直接的に関わる法律についても学習し、実生活においても活用できるように理解しましょう。				
授業終了時の到達目標				
日本における法規とは何かを理解する。 動物や獣医療に関連する法規がどのような特性と持っているのかを理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内の動物病院にて動物看護師として2年間勤務		
時間外に必要な学修				
定期的に確認テストを行います。前回学んだ部分をしっかりと復習すること、授業中の内容を理解することが重要です。				
回	テーマ	内 容		
1	法の基礎知識	法とは何か		
2	伴侶動物に関わる法規	伴侶動物を飼育するにはどのような法規に関わるか		
3	獣医事行政法規	愛玩動物看護師法		
4	獣医事行政法規②	獣医師法と獣医療法		
5	家畜衛生行政法規	家畜伝染病予防法		
6	家畜衛生行政法規②	ペットフード安全法		
7	公衆衛生行政法規	感染症法		
8	公衆衛生行政法規②	狂犬病予防法、補助犬法		
9	薬事行政法規	医薬品医療機器等法		
10	環境行政関連法規	動物愛護管理法		
11	環境行政関連法規②	動物愛護管理法		
12	環境行政関連法規③	外来生物法、種の保存法		
13	環境行政関連法規④	廃棄物処理法		
14	総復習	これまでに学んだ内容を振り返り復習を行う		
15	期末試験	動物医療関連法規で学んだ内容の復習テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト①(人と動物の関係) 授業毎の配布プリント		期末試験 確認テスト 出席率	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学 I		動物看護総合学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	林 勇樹
授業の概要				
公衆衛生とは人々の健康を守るための科学であり、技術である。そのため、この科目を学習することで、国家資格化の決定した動物看護師として社会に貢献するための方法を学ぶことができる。獣医師の役割である「公衆衛生の向上」を動物看護師としてサポートできるように学習する。				
授業終了時の到達目標				
公衆衛生とは何かを説明できるようになる。 疫学とは何かを説明できるようになる。 人獣共通感染症を知り、その対処方法を実践できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内の動物病院にて動物看護師として2年間勤務		
時間外に必要な学修				
定期的に確認テストを行います。前回学んだん部分をしっかりと復習する事、授業中の内容を理解することが重要です。				
回	テーマ	内 容		
1	動物看護師と公衆衛生	公衆衛生とは何か		
2	疫学	疫学の社会おける利用方法		
3	人獣共通感染症(動物由来感染症)①	ウイルス性人獣共通感染症		
4	人獣共通感染症(動物由来感染症)②	ウイルス性人獣共通感染症		
5	人獣共通感染症(動物由来感染症)③	ウイルス性人獣共通感染症		
6	人獣共通感染症(動物由来感染症)④	ウイルス性人獣共通感染症		
7	人獣共通感染症(動物由来感染症)⑤	ウイルス性人獣共通感染症		
8	人獣共通感染症(動物由来感染症)⑥	ウイルス性人獣共通感染症		
9	人獣共通感染症(動物由来感染症)⑦	細菌性人獣共通感染症		
10	人獣共通感染症(動物由来感染症)⑧	細菌性人獣共通感染症		
11	人獣共通感染症(動物由来感染症)⑨	細菌性人獣共通感染症		
12	人獣共通感染症(動物由来感染症)⑩	細菌性人獣共通感染症		
13	人獣共通感染症(動物由来感染症)⑪	細菌性人獣共通感染症		
14	人獣共通感染症(動物由来感染症)⑫	真菌性人獣共通感染症		
15	期末試験	公衆衛生学 I で学んだ内容について試験する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト③(動物の疾病と予防および回復) 授業毎の配布プリント		期末試験 出席率	80.0% 20.0%	動物感染症学に関連する内容が多々あります。見直しをしておいてください。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
野生動物学		動物看護総合学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	松岡 樹
授業の概要				
愛玩動物飼養管理士1級対策授業				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物飼養管理士1級合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
繰り返し課題問題を見直し、完璧に解けるようにする				
回	テーマ	内容		
1	愛護運動歴史、動物愛護管理法	課題問題1~15		
2	動物関係法令①②	課題問題16~29		
3	動物関係法令③、行動と社会	課題問題30~45		
4	犬と猫の栄養学①	課題問題46~54		
5	犬と猫の栄養学②	課題問題55~63		
6	動物の遺伝と繁殖①	課題問題64~67		
7	動物の遺伝と繁殖②	課題問題68~72		
8	感染症の病原体	課題問題73~79		
9	感染症の発症と予防	課題問題80~83		
10	ライフスタイル別疾病予防	課題問題84~88		
11	疾病と予防(犬)	課題問題89~102		
12	疾病と予防(猫)	課題問題103~110		
13	疾病と予防(エキゾ)野生動物	課題問題111~116		
14	飼養管理と公衆衛生①	課題問題117~125		
15	飼養管理と公衆衛生②	課題問題126~136		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物使用管理士1級テキスト 課題報告問題		授業態度 期末試験 出席率	30.0% 40.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
様々な外科疾患について治療手技などを交えて学ぶ				
授業終了時の到達目標				
一般的な外科疾患の治療方法を理解し治療の補助ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
学んだ内容を復習し身に付け、次回以降に活かす。				
回	テーマ	内容		
1	外科動物看護学Ⅱの目的とⅠの復習①	科目の目的と評価方法 外科動物看護学Ⅰの内容の復習とテスト(手術器具)		
2	外科動物看護学Ⅱの目的とⅠの復習②	外科動物看護学Ⅰの内容の復習とテスト(麻酔とモニター)		
3	創傷管理と包帯法	縫合方法と創傷の管理、包帯法		
4	外科疾患と治療 骨折	外科治療を行う疾患について。骨と関節・名前の復習 骨折の種類と治療方法、骨折動物への看護		
5	脱臼(パテラ・大腿骨)	膝蓋骨脱臼と大腿骨脱臼の症状と治療方法 脱臼動物の看護		
6	椎間板ヘルニア	椎間板ヘルニアの症状と治療方法 椎間板ヘルニアの看護		
7	断脚	断脚について		
8	整形外科手術の注意とリハビリ	整形外科手術時の滅菌と注意 リハビリの注意		
9	消化器系の手術について	消化器系・名前と働きの復習と確認テスト		
10	消化器系外科疾患の手術	胃拡張捻転症候群・腸閉塞の症状と治療		
11	肝臓の手術	肝臓がん・胆嚢粘液嚢腫・胆石・胆泥の手術		
12	生殖器の手術	子宮蓄膿症・前立腺疾患の治療		
13	泌尿器の手術	膀胱結石・会陰尿道瘻		
14	腫瘍の手術	様々な腫瘍の切除方法と看護		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護のテキスト 配布プリント				

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。				
授業終了時の到達目標				
動物の主な疾患の看護について実践でき、また、飼主に疾病の予防を説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
毎回確認テストを行う。学んだ内容を復習し身に付け、次回以降に活かす。				
回	テーマ	内容		
1	消化器の病気5	腸の疾患 パルボウイルス感染症		
2	消化器の病気6	腸の疾患 慢性腸症・炎症性腸疾患・免疫抑制薬反応性腸炎・腸リンパ管拡張症		
3	消化器の病気7	腸の疾患と消化管内異物 腸閉塞・腸重積・腸内異物・胃内異物・食道内異物		
4	消化器の病気8	胃の疾患 胃炎・幽門狭窄・胃拡張胃捻転症候群		
5	消化器の病気9	食道と腸の疾患 巨大食道症・右大動脈弓遺残・直腸脱・巨大結腸症		
6	消化器の病気10	消化器の関係するヘルニア 臍・鼠径・会陰・横隔膜ヘルニア		
7	消化器の病気11	口腔の疾患 不正咬合・乳歯遺残・口蓋裂・歯周病		
8	消化器の病気12	肝臓の疾患 肝臓の働き 肝炎・肝硬変		
9	消化器の病気13	肝臓の疾患 肝リピドーシス・門脈体循環シャント		
10	消化器の病気14	肝臓の疾患 胆嚢粘液嚢腫 膵臓の働き		
11	消化器の病気15	膵臓の疾患 膵炎・膵外分泌不全		
12	消化器の病気16	消化器疾患動物の看護		
13	循環器系1	心臓の構造と働き 僧帽弁閉鎖不全		
14	循環器系2	心臓の疾患 犬糸状虫症・動脈管開存		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書 配布プリント		期末試験 確認テスト 出席率	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	西村 美笛
授業の概要				
さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。				
授業終了時の到達目標				
臨床検査についての基本技術を修得し、特に使用頻度の高い検査について正しい検査方法で行うことができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院にて、2年間動物看護師として勤務。		
時間外に必要な学修				
動物臨床検査実習Ⅰと連動した授業のため、学習した内容を動物臨床検査実習Ⅰで実践し、理解する必要がある				
回	テーマ	内容		
1	導入、クロスマッチ、血液型判定	導入、クロスマッチ、血液型判定		
2	混合ワクチン	スタッフ犬猫の混合ワクチン接種		
3	画像診断①	レントゲン、造影剤 など		
4	画像診断②	エコー検査、CT、MRI など		
5	神経学的検査	神経学的検査		
6	細胞診、病理組織検査、内視鏡検査	細胞診、病理組織検査、内視鏡検査、生検		
7	アレルギー、ホルモン検査、外注検査	アレルギー、ホルモン検査、外注検査		
8	心電図検査	心電図検査		
9	血液検査	血液について、血液検査 総復習		
10	採血練習	採血練習(けっかんくん使用)		
11	採血、血液検査①	採血実習、血液検査		
12	採血、血液検査②	採血実習、血液検査		
13	実技試験①	実技試験実施(留置・点滴)		
14	実技試験②	実技試験実施(留置・点滴)		
15	期末試験	期末試験実施(持ち込み可)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
臨床動物看護学② 動物看護学テキスト		期末試験 出席率 授業態度	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学実習Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2022/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。				
授業終了時の到達目標				
臨床検査についての基本技術を修得し、特に使用頻度の高い検査について正しい検査方法で行うことができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山県倉敷市の動物病院にて、2年間動物看護師として勤務。		
時間外に必要な学修				
動物臨床検査実習Ⅰと連動した授業のため、学習した内容を動物臨床検査実習Ⅰで実践し、理解する必要がある				
回	テーマ	内容		
1	導入、クロスマッチ、血液型判定	導入、クロスマッチ、血液型判定		
2	混合ワクチン	スタッフ犬猫の混合ワクチン接種		
3	画像診断①	レントゲン、造影剤 など		
4	画像診断②	エコー検査、CT、MRI など		
5	神経学的検査	神経学的検査		
6	細胞診、病理組織検査、内視鏡検査	細胞診、病理組織検査、内視鏡検査、生検		
7	アレルギー、ホルモン検査、外注検査	アレルギー、ホルモン検査、外注検査		
8	心電図検査	心電図検査		
9	血液検査	血液について、血液検査 総復習		
10	採血練習	採血練習(けっかんくん使用)		
11	採血、血液検査①	採血実習、血液検査		
12	採血、血液検査②	採血実習、血液検査		
13	実技試験①	実技試験実施(留置・点滴)		
14	実技試験②	実技試験実施(留置・点滴)		
15	期末試験	期末試験実施(持ち込み可)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
臨床動物看護学② 動物看護学テキスト		期末試験 出席率 授業態度	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学実習Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2022/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
外科手術に関する技術の実践と応用				
授業終了時の到達目標				
基本的な手術の手技・助手・外回りの動きがわかる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
外科手技の練習をして実技試験に備える				
回	テーマ	内容		
1	科目の目的 外科動物看護実習Ⅰの復習	<ul style="list-style-type: none"> ・科目の目的と到達目標 実技テストはすべての役割をできるようになっていること。 ・手結び・器械結び・針への糸付け等の復習 ・モニター・麻酔器のつなぎ方の復習 ・手洗い・手袋・術着 着せる、たたむ 復習 		
2	スケーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・スケーリングの目的と看護 プリントとPP ・道具の使用法: スケーラー・ポリッサー(田上) 歯磨き(西村) 空き時間は手結び・器械結びの練習 		
3	去勢手術①	<ul style="list-style-type: none"> ・去勢手術の方法説明1時間 プリントとPP ・模型を使用して実際に説明空き時間は器具の確認 ・器具やモニター、麻酔器の使用法の確認 		
4	去勢手術②	去勢手術の実践(模型の使用)		
5	去勢手術③	去勢手術の実践(模型の使用)		
6	去勢手術④	去勢手術の実践(模型の使用)		
7	去勢手術実技テスト	去勢手術実技テスト(模型)		
8	手術実習練習&準備	手術実習準備及び練習、最終チェック		
9	手術実習(去勢手術)	実際に犬または猫の去勢手術を実施する 助手・外回りすべて学生に役割をあてる		
10	避妊手術①	避妊手術の方法(犬・猫) プリントとPP		
11	避妊手術②	避妊手術の実践(模型の使用)		
12	避妊手術③	避妊手術の実践(模型の使用)		
13	避妊手術④	避妊手術の実践(模型の使用)		
14	避妊手術実技テスト	避妊手術実技テスト(模型)		
15	期末試験	筆記試験を実施する(持ち込み可)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護学テキスト 配布プリント		実習・実技評価 期末試験 出席率	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2022/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
「働くこと」を自分のことのように捉え、自分らしい「キャリアの在り方」についての洞察を深め、将来社会に出て実践できるように、社会人として求められる姿勢や資質・能力を身につける。				
授業終了時の到達目標				
①自己のキャリアを考える上での基礎的理解ができ、仕事選択のやり方を習得できる。 ②「自分らしさ」についての理解を深め、それを表現し、言語化・文章化できる。 ③仕事で求められる心構え・姿勢や能力が理解でき、それを学習活動につなげられる。 ④仕事選択を身近に考えるようになり、キャリア・プランを具体的に立てられる。 ⑤校外研修に向けた履歴書を作成できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
動物看護師としての自分の姿を想像し、現場で必要な知識や技術が何かを追求する。				
回	テーマ	内容		
1	校外研修の振り返り1	校外研修の振り返りを発表できる形でまとめる		
2	校外研修の振り返り2	校外研修の目標、行ったことや不足していたこと今後の目標を発表		
3	校外研修の振り返り3	インターンシップ報告書の記入と提出		
4	校外研修の振り返り4	最終まとめ 報告書と目標設定シートの提出		
5	企業研究1	就職先を考える 具体的な条件をまとめる		
6	企業研究2	就職先を考える どこで働きたいか考える		
7	企業研究3	具体的に求人のある企業を探す		
8	企業研究4	研修希望企業をまとめて提出		
9	研修先の決定	研修先の選定を行う		
10	研修先の決定	研修先の選定を行う		
11	研修日程決定	研修先と連絡を取り、日程を確定させる		
12	事前訪問	事前訪問時に確認することをまとめ 訪問する		
13	研修中の目標作成	研修中に身に付けることをまとめる		
14	研修中の日々の振り返り	研修中は毎日日誌を付ける		
15	研修終了後にすべきこと	お礼状の送付と自身の研修の振り返りとさらなる目標設定		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
就勝ゼミ教材		課題・レポート 出席率	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2022/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	佐藤 ゆかり
授業の概要				
<p>ペットショップ、動物病院で活躍できるトリマーとしての技術を習得する。 トリミングを行う各犬種のベーシックなカットから、流行のカットの技法を習得するための技術を身につける。 モデル犬に負担をかけない効率の良い作業を行う技術を習得する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>時間内にトリミングを完成できる。 お客様の要望するメニュー通りのトリミングができる。 その犬の体型バランスを考えたトリミングができる。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		広島市内のトリマー専門学校講師として4年実務経験、動物看護師として3年実務経験		
時間外に必要な学修				
普段からペットカットに興味を持ち、カットの形を意識して見る				
回	テーマ	内容		
1~60	モデル犬のグルーミングとトリミングを完成させる	<p>一人でモデル犬のグルーミングからトリミングを行う。</p> <p>各犬種のトリミングラインを理解し、時間内に仕上げるための技術を習得する。</p>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 確認テスト	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネス文書		動物看護総合学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	角田 有優美
授業の概要				
ビジネス文書3級に合格するための知識の修得				
授業終了時の到達目標				
ビジネス文書3級合格。ビジネス文書をつかうことが出来る。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
ビジネス文書3級合格に向けてテキストを熟読し、過去問題で確認する				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション	テキスト「受験ガイド3級」まがきの内容理解 文書検定3領域の理解と受験計画 社内文書と社外文書の比較		
2	ビジネス文書を学ぶ理由	ビジネス文書が果たす重要な役割 文書作成技能が求められている理由 ビジネス文書と現代の表記		
3	1. 総合 文書は正しく丁寧に書く	片仮名文を漢字仮名交じり文にする問題で、検定試験を体験する 句読点の打ち方や改行の仕方 慣用語の欄の漢字を学習する		
4	4. 書式 横書き通信文の構成とレイアウトを学ぶ	社内文書と社外文書の違いを復習する 社内文書と社外文書のレイアウトをパターンとして理解する 文書のフレーズ例と合わせて経験させ、まずは書くことに重点を置く、		
5	2. 用字 実用文を書くにあたって知っておくべき用字を学ぶ	常用漢字、固有名詞、ビジネス語 仮名きすべき語句 現代仮名遣いの用い方 送り仮名の付け方		
6	2. 用字 実用文を書くにあたって知っておくべき用字を学ぶ	片仮名の書き方 数字の書き表し方 句読点の付け方		
7	3. 用語 実用文を書くにあたって知っておくべき用語を学ぶ	一般の用語 同音異義語と異字同訓語 慣用の手紙用語		
8	1. 正確文章 正確な文章を書く	よじれない文章が書ける 類義語を正しく分ける 正しく使い分けるための基本		
9	2. 分かりやすい文章 分かりやすい文章を書く	表題(件名)が付けられる 箇条書きなどを使って、文章をわかりやすくすることができる 分かりやすくするための図表が書ける		
10	3. 礼儀正しい文章 礼儀正しい文章を書く	人を示す言葉・敬称、自他の呼び方、お・ごの使い分け、尊敬語・謙譲語・丁寧語		
11	3. 礼儀正しい文章 礼儀正しい文章を書く	特有の表現、手紙のエチケットやしきたり、敬語、慣用句		

回	テーマ	内 容		
12	1. 社内文書 社内文書を書く	社内文書の特徴を理解する 簡単な社内文書（通信文など）が書けるようになる 書式の必要性を理解する		
13	2. 社外文書 社外文書	社外文書の特徴を理解する 簡単な事務用文書が、文例を見て書けるようになる 書式を完璧に習得する		
14	文書の取扱	封書の宛名、わき付け・外わき付け、敬称、機密情報、郵便、用紙の大きさ・紙質、印刷物の校正		
15	過去問題・苦手克服	実際の受験を想定して過去問題に取り組む 各領域「表記・表現・実務」それぞれ60%の回答率を得るため、 時間配分を考えながら取り組む		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定3級ガイド		期末試験 出席率 確認テスト	30.0% 20.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		動物看護総合学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
専門学校での学習の意味を理解し、就職活動に向けて必要なスキルや考え方、自己を表現できる方法を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書が書ける。 ・面接での受け応えができる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中のニュースに関心をもつこと (できれば新聞が良いですがまずは、テレビやスマートフォンからニュースを見てみましょう) 				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション 社会人基礎講座で学ぶことの解説 「就職活動の世界」を知る	担当教員自己紹介 社会人基礎講座授業の解説と学ぶ意義について		
2	モノの見方 就活基礎教育(1)	自分自身のモノの見方を把握しよう 人それぞれにモノの見方は異なることを理解しよう		
3	偶然がつくる人生	意識の持ち方で見えるものが変わってくる		
4	「就職活動の世界」を知る	社会を見るセンスを磨く 自分はどんなニュースに興味があるのか		
5	考え方 就活基礎教育(2)	いろいろな考え方を知ることによって様々な視点から物事を捉えられる		
6	話の聴き方 就活基礎教育(4)	相手の話の聴き方 聴く姿勢、聴き方のコツがあります		
7	文章の書き方と構成の仕方 就活基礎教育(3)	伝えたいこと＝文章で見える化 要点をおさえる。事実と解釈は別もの。		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を知る工夫(1)(2) ・学生時代に力を入れたこと 	(1)記憶から自分をたどる(2)他者の力を借りる 行動の動機や根拠を大切に書く		
9	履歴書の書き方と伝え方	履歴書は自分自身の「事実」を書くもの 基本や手順を追って理解しよう		
10	自己PR(自己紹介文)を書く	自己PRの基礎をおさえよう		
11	自分に合った仕事・会社を探す	働くうえで自分が大切にしたいことはなにか。 どんな環境で働きたいのか。		
12	仕事の見つけ方	どんな仕事に就こうと考えているのか その仕事に就くにあたって必要なスキルはなんだろうか。		
13	志望動機を書く	志望動機を組み立てる3つの柱 「自己分析」「情報収集」「会社でやりたいこと」		
14	世の中の仕事を知る	自分の興味のある業界はどこなのかを選んでみよう また、なぜそれに興味を持つ理由はなにか考えよう。		
15	面接の基本	面接の中身から外見(上辺)まで。面接の準備に向けて。面接は自己表現の場。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・熱血!森吉弘の就勝ゼミ教材 ・就活動画教材 		実習・実技評価 課題・レポート 出席点 授業態度	40.0% 40.0% 10.0% 10.0%	授業を通して自身の就職先について考えましょう。